

平成 30(2018) 年度日本留学フェア（ミャンマー）実施概要（結果）
～ 日本との未来を拓け ～

1. 主催等

- (1) 主催 岡山大学／岡山大学日本留学情報センター（OJEIC）
- (2) 共催 ミャンマー元日本留学生協会（MAJA: Myanmar Association of Japan Alumni）
国立六大学連携コンソーシアム
（千葉大学、新潟大学、金沢大学、長崎大学、熊本大学、岡山大学）
- (3) 協力 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
ミャンマー人材育成支援産学官連携ふらっとフォーム 会員企業・大学
独立行政法人国際協力機構（JICA）ミャンマー事務所
- (4) 後援 在ミャンマー日本国大使館

2. 開催国（都市）

ミャンマー（ヤンゴン）

3. 開催月日

平成 30（2018）年 8 月 18 日（土曜日） 9 時から 16 時まで

4. 会場

ノボテル ヤンゴン マックス （Novotel Yangon Max）
（459 Pyay Road Kamayut Tsp, Yangon, Myanmar）

7. 来場者数

2, 429 人（前年度 1, 488 人）

8. 開催内容

① 開会式

- a. 主催者挨拶
岡山大学 学長 槇野博史
- b. 来賓挨拶
駐ミャンマー日本国特命全権大使 丸山市郎
ミャンマー教育省高等教育局 副局長 Prof. Dr. Nay Win Oo
- c. 来賓紹介と写真撮影
駐ミャンマー日本国特命全権大使 丸山市郎
ミャンマー教育省高等教育局 副局長 Prof. Dr. Nay Win Oo

ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA) 会長 Dr. Myo Khin
文部科学省高等教育局学生・留学生課 課長補佐 小形徳応
文部科学省高等教育局学生・留学生課留学生交流室 政策調査係長 三國屋しおり
ミャンマー人材育成支援産学官連携ぷらっとフォーム 三菱商事株式会社
ミャンマー総代表 真野英俊
岡山大学 学長 槇野博史

②セミナー

<午前の部>

- a. 日本留学の概要
岡山大学日本留学情報センター (OJEIC) 留学コーディネーター・鳥越麻美
- b. 大使館による日本留学支援
在ミャンマー日本国大使館 広報文化班・二等書記官 堀口昭仁
- c. 日本留学試験、日本語能力試験説明
ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA) 事務局長 Ms. Mo Mo San
- d. 日本留学経験者による留学体験談
Kyi Phyu Tun、Su Zar Zar
- e. 卒業後の進路：日本での就職
・三菱商事株式会社 ヤンゴン駐在事務所 Thein Htike Win
・RYOBI MYANMAR DISTRIBUTION SERVICE Su Su San

<午後の部>

- f. 日本留学の概要
岡山大学日本留学情報センター (OJEIC) 留学コーディネーター・鳥越麻美
- g. 日本留学試験、日本語能力試験説明
ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA) 事務局長 Ms. Mo Mo San
- h. 日本留学経験者による留学体験談
Kyi Phyu Tun、Su Zar Zar
- i. 卒業後の進路：日本での就職
・三菱商事株式会社 ヤンゴン駐在事務所 Thein Htike Win
・RYOBI MYANMAR DISTRIBUTION SERVICE Su Su San

③個別コンサルテーション

- a. 設置ブース別個別相談
在ミャンマー日本国大使館
独立行政法人国際協力機構ミャンマー事務所
日本学生支援機構 (JASSO)
ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA)

岡山大学日本留学情報センター (OJEIC)

b. 参加機関：計 36

国立大学 11 大学、私立大学 10 大学、日本語教育機関 9 機関、専門学校 2 機関、
その他関係機関 4 機関

④元日本留学経験者とのフリートークコーナー

Kyi Phyu Tun

Su Zar Zar

⑤日本文化紹介コーナー (JAPAN CULTURE HOUSE)

デモンストレーション：折り紙

⑥日本語体験コーナー (国際交流基金)

日本語クイズ、日本語教材の展示

9. 概況

ミャンマーでは、平成 15 年度から平成 25 年度まで日本学生支援機構が「日本留学セミナー」として 11 回開催してきた。昨今の日本への留学の関心の高まりも踏まえ、平成 26 年には日緬外交関係樹立 60 周年を記念する行事として規模を拡大し、「日本留学フェア」として開催した。平成 26 年度には、岡山大学がミャンマーにおける文部科学省の「留学コーディネーター配置事業」の採択校として決定したことから、平成 27 年度は共催者として参加、平成 28 年度から岡山大学が主催者として企画・運営し開催している。なお、今年度は同ホテルの別の階でジョブフェアが同時開催されたため、留学フェアへの企業からの参加はなかったが、参加者にとっては留学と仕事両方の情報を得られる機会となった。留学フェアでも例年どおり日本企業に就職している日本留学経験者による卒業後の進路について発表を設けた。

広報活動としては、今年もミャンマーで影響力が高い Facebook を活用し、昨年度有効だった Facebook の有料広告を出した他、開催日まで随時「Study in Japan Fair 2018」に関する情報を掲載、開催当日も会場の様子を随時掲載した。また、留学コーディネーターによる現地の高校及び大学訪問やミニ留学フェアの開催、ポスターを掲示・送付するなど幅広い広報活動に努めた。開催前から Facebook 上などでの留学フェアへの関心度がこれまで以上に高いことがうかがえたが、当日の来場者数は前回から約 1,000 人増の 2,429 人となった。

開会式、全体セミナーの会場では立ち見ができるほど盛況となり、ブース会場でも、それぞれのブースに多くの参加者が訪れ、熱心に個別相談が行われた。また、今年度も来場者が会場内で記念撮影ができるよう撮影用バナーを設置した他、午前と午後の 2 回、抽選会を開催した。抽選会では、参加機関から提供された景品のほか、昨年に続いて、日本留学試験(EJU)と日本語能力試験(JLPT)の受験料(午前・午後それぞれ 5 人)を特賞とし、EJU の認知度向上を図った。

フェア前日には、参加機関の参加者を対象とした大学等訪問を実施し、38 人が参加した。今年度はミャンマー教育省高等教育局も訪問し、副局長、現地の大学の学長等 18 人と意見交換する機会を持つことが

できた。参加者からは、充実した内容で自分たちでは組むことのできない行程、現地の学生と話す機会を持ってよかった、など概ね好評だった。さらに、昨年に引き続き、フェア前日の夜には日本国大使館広報文化班の書記官を囲む意見交換会を開催し、66人が参加した。ここでも現地の情報について理解を深める機会を提供した。

経済発展が著しく日系企業も進出しているミャンマーでは、外国語学習者では英語の次に日本語が多いといわれており、平成29年度のEJU、JLPTの受験者数はそれぞれ前年度の2倍、1.7倍に増えている。日本語学習熱が高まり、本フェアの参加者も急増するなど、今後も日本留学志望者の増加が見込まれるなか、ミャンマー第二の都市にOJEICマンダレー事務所も開設することができた。より多くのミャンマーの学生が日本への留学を身近なものとして考えることができるよう、引き続き日本留学に関するきめ細かな情報提供によって留学準備を支えつつ、留学中、さらには留学後の「出口」を見据えることができるような具体例等を示しながら日本留学をPRすることで、さらなる日本留学促進に努めていきたい。

(以上、氏名はすべて敬称略)



平成30年度日本留学フェア（ミャンマー）参加機関一覧（五十音順）

36 団体

国立大学 13 大学

- 1 大阪大学*
- 2 岡山大学*
- 3 金沢大学*
- 4 九州大学*
- 5 京都大学*
- 6 熊本大学*
- 7 静岡大学
- 8 千葉大学*
- 9 長崎大学*
- 10 新潟大学*
- 11 宮崎大学

その他 4 機関

- 1 アジア国際交流奨学財団
- 2 井内留学生奨学基金
- 3 福岡市
- 4 東京都専修学校各種学校協会

※ *ぷらっとフォーム会員

私立大学 10 大学

- 1 大手前大学・大手前短期大学
- 2 国際大学*
- 3 事業創造大学院大学 **NEW**
- 4 拓殖大学*
- 5 東京福祉大学・大学院
- 6 東洋大学
- 7 南山大学
- 8 立命館アジア太平洋大学
- 9 立命館大学
- 10 早稲田大学*

日本語教育機関 9 機関

- 1 I.C.NAGOYA
- 2 青山スクールオブジャパニーズ
- 3 赤門会日本語学校
- 4 アン・ランゲージ・スクール
- 5 大原日本語学院
- 6 岡山外語学院
- 7 京進ランゲージアカデミー
- 8 東京ギャラクシー日本語学校 **NEW**
- 9 日垂外語学院 **NEW**

専門学校 2 機関

- 1 日本工科大学校 **NEW**
- 2 メトロ IT ビジネスカレッジ

